

# 3 ふみだす探検隊

運営団体/国立青少年教育振興機構

様々な体験を通して、子どもたちが一步ふみだす力を育むプログラムです。



東日本大震災以降、福島県の子どもたち向けに体験活動の機会と場を提供し、豊かな自然環境の中でのリフレッシュを目的とした「リフレッシュ・キャンプ」を実施してきました。2012年度からは「ふみだす探検隊」として自然体験・生活体験・文化体験などを盛り込んだプログラムを開催し、2014年度までに述べ5,000人の子どもたちが参加しました。

2015年度は、連休中や長期休暇期間中に全国の国立青少年自然の家や交流の家など計4施設で7プログラムを開催します。福島県の子どもたちの「考えを整理し、表現する力」「心身ともに健康で、自立的に行動する力」「多様な価値観を認め、感謝の心をもち、協働・協創する力」を引き出せるよう、保護者や学校、地域社会との連携に重点を置きながら、教育的効果の高い活動を実施します。

## 地元と連携して多様なプログラムを提供

国立赤城青少年交流の家(群馬県前橋市)で実施するプログラムでは、同施設で生活を送りながら、グループに分かれて「赤城南麓エコツーリズムの旅(てづくり体験)」に出かけます。国立赤城青少年交流の家周辺の農家レストランなどを訪れ、地元の自然環境や人々と触れ合いながら、チーズやプリンづくり、クラフト体験など、子どもたちの手で物を作り上げる体験にじっくりと時間をかけて取り組みます。

プログラムの実施に際しては、地元、赤城山エコツーリズム推進協議会にご協力いただき、地元の大人も巻き込みながら地域一丸となって福島の子どもたちの成長を後押ししています。

## 特長



主な対象者	小・中学生
対象地域	福島県全域
活動頻度	年間7回